

国立大学法人東京医科歯科大学長に求められる資質・能力について

平成27年11月20日
国立大学法人東京医科歯科大学
学長選考会議

【東京医科歯科大学基本理念】

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

【東京医科歯科大学長に求められる資質・能力】

東京医科歯科大学は、基本理念に基づき、世界に冠たる医療系総合大学へのさらなる飛躍を目指している。学長は、その実現を追求する強い意志を有し、人格が高潔で、学識に優れ、かつ、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力、即ち、具体的には、次のような資質・能力を備えていることが求められる。

1. 「知と癒しの匠」となる医療人の養成、先端的で特色ある医歯工連携研究の推進、高度で先進的な医療・歯科医療の提供など、知とテクノロジーの拠点として広く社会からの要請に応えるため、教育・研究・医療の高度化を推進し、不断の改革を実行する情熱と強い使命感を有する者であること
2. 学内外から強い信頼を得るに足る高潔な人格と優れた学識を有する者であること
3. 世界最先端の教育研究を実現するため、大学の国際化を推進するグローバルな視野と強い発信力を有する者であること
4. 全学的な視野で学内の合意形成を図りながら、大学の管理運営及び経営の責任者として、現在及び将来の諸課題の具体的な戦略を立て、それを実現していく優れたリーダーシップを発揮することができる者であること